

高澤十四久教授 履歴・業績

高澤十四久教授 履歴・業績

高澤十四久（たかさわ・としひさ）

昭和14年8月29日，新潟県新発田市下三光245で生まれる。

〔学歴（最終学歴）〕

昭和45年3月31日 早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。

〔学位〕

商学修士（早稲田大学） 昭和41年3月15日。

〔本学関係履歴〕

教授（経営学部） 昭和56年4月1日。

教授（大学院経営学研究科修士課程） 昭和58年4月1日。

教授（大学院経営学研究科博士課程） 平成2年4月1日。

学生部次長 昭和62年2月1日～平成5年1月31日。

就職指導委員会委員 昭和60年4月1日～昭和61年2月28日；平成6年2月1日～平成12年1月31日。

障害学生支援推進委員会委員 平成15年3月1日～平成17年2月28日。

学級担任 昭和59年4月1日～昭和61年2月28日；平成4年4月1日～平成5年31日；平成7年4月1日～8年3月31日。

図書館委員会委員 昭和58年4月1日～昭和59年3月31日。

〔職歴および学会における活動〕

早稲田大学第一商学部副手 昭和40年4月1日～昭和45年3月31日。
 愛知学院大学商学部専任講師 昭和45年4月1日～昭和48年3月31日。
 愛知学院大学商学部助教授 昭和48年4月1日～昭和56年3月31日。
 愛知県立大学外国学部第二部非常勤講師 昭和50年4月1日～51年3月31日。
 日。
 青山学院大学経営学部非常勤講師 昭和57年4月1日～59年3月31日。
 法政大学経済学部非常勤講師 平成元年4月1日～現在に至る。
 日本バーナード協会 事務局員，幹事 昭和49年9月～昭和63年12月。
 フォレット協会 幹事 昭和61年11月～現在に至る。
 経営学史学会理事および経営哲学学会理事・会計監事就任。

〔研究業績〕

【著書（共著）】

- 1) 経営管理の思想家たち（ダイヤモンド社） 1974年10月。
- 2) 管理と組織—その理論とケース（文真堂） 1977年4月。
- 3) 人間・組織・管理（文真堂） 1979年4月。
- 4) バーナード経営者の役割（有斐閣） 1979年6月。
- 5) 経営学（3）（有斐閣） 1979年9月。
- 6) 経営学原論（文真堂） 1982年10月。
- 7) 経営学の国際的系譜（同文館）1984年5月。
- 8) 新版・経営管理の思想家たち（早稲田大学出版部） 1987年11月。
- 9) 経営学総論（第二版）（成文堂） 1989年5月。
- 10) 新版・人間・組織・管理（文真堂） 1992年3月。
- 11) バーナード研究の軌跡（編集） 1987年9月。

【翻訳書（共訳）】

- 1) C. I.バーナードの組織概念（白桃書房） 1973年 1月。
- 2) C. I.バーナードの組織概念〔増補版〕（白桃書房） 1974年 3月。
- 3) 現代経営学への道程—経営・学説・背景—（文真堂） 1974年 9月。
- 4) 組織行動論の基礎—パレートの一般社会学（東洋書房） 1975年 4月。
- 5) バーナード経営学入門—その人と学説（ダイヤモンド社） 1975年 6月。
- 6) J.チャイルド・経営管理思想（文真堂） 1982年 4月。
- 7) 経営者の哲学—バーナード論文集（文真堂） 1986年12月。
- 8) M. P.フォレット：新しい国家・民主的政治の解決としての集団組織論（文真堂）1993年12月。
- 9) M. P.フォレット管理の預言者（文真堂） 1995年 5月。
- 10) マネジメント思想の進化（文真堂） 2003年 9月。

【辞典（分担・項目執筆）】

- 1) 経営管理辞典（同文館） 1978年 5月。
- 2) 経営実務大百科（ダイヤモンド社）1980年 3月。
- 3) 現代ビジネス実践大系（ダイヤモンド社）1983年 7月。
- 4) 経営管理辞典〔改定増補版〕（同文館） 1984年 4年。
- 5) ビジネス・経営学辞典（中央経済社） 1997年12月。
- 6) 人材開発辞典（株式会社キャリアスタッフ） 1998年 7月。
- 7) 管理会計辞典（同文館） 2000年 3月。
- 8) 経営学史辞典（文真堂）2002年 6月。
- 9) 新版ビジネス経営学辞典（中央経済社） 2006年 5月。
- 10) 経営行動科学辞典（創世社） 1987年 4月。
- 11) 新・経営行動科学辞典（創世社） 1996年10月。

【書評】

- 1) バーナード理論研究のための新しい接近—飯野春樹著『バーナード研究—その組織と管理の理論—』〔文真堂 現代経営学選集 3〕(文真堂)「商学研究」(愛知学院大学商学会)第23巻第号 1978年8月。
- 2) 河野大機著『バーナード理論の経営学的研究』千倉書房「組織科学」第14巻第3号 1980年9月。
- 3) 土屋守章著『企業の社会的責任』「地域分析」第19巻第1号。
- 4) 平雄之著『コミュニケーション・アプローチ：バーナード経営学への道』「専修経営学論集」第36号 1983年7月。
- 5) 島袋嘉昌編著『経営哲学の基礎』「専修経営学論集」第41号 1986年2月。
- 6) 三戸公・榎本世彦著『フォレット』「専修経営学論集」第42号 1986年9月。
- 7) 飯野春樹著『バーナード組織論研究』「経営行動」vol.9 no.2 1994年8月。
- 8) 小笠原英司著『経営哲学研究序説—経営学的経営哲学の構想』を読み、つくづく思うこと「専修経営学論集」第81号 2005年11月。
- 9) 福永文美夫著『経営学の進化—進化論的経営学の提唱—』(文真堂)を読む
「専修経営学論集」第85号 2007年11月。
- 10) 南 龍久著『現代の経営管理』(中央経済社)を読む「専修経営学論集」第86号 2008年3月。
- 11) 岸田民樹・田中政光著『経営学史』(有斐閣), 2009年7月を読んで「専修経営学論集」第89号 2009年11月。

【論文】

- 1) 意思決定志向的経営経済学の科学プログラム研究序説 「商経論集」(早稲田大学大学院商学研究科院生自治会) 第17号 1970年2月。
- 2) 組織と外部環境に関する一考察 「商学研究」第18巻第1号 1970年12月。
- 3) A.R.negandhi and S.B.prasad: Comparative Management 1971.について (1), (2) 「地域分析」(愛知学院大学・経営研究所) 第10巻第1・第2号 1972年1月・6月。
- 4) E.ハイネン: 経営経済学の意思決定志向的基礎理論〔訳稿〕 「商学研究」第19巻第2号 1972年9月。
- 5) ポール・E・トーガスン, ロバート・J・クレグ: バーナードの組織概念〔訳稿〕 「商学研究」第19巻第3, 4号 1973年5月。
- 6) チェスター・I・バーナードの組織論研究の一視角 日本経営学会編『経営国際化の諸問題』 1974年10月。
- 7) 管理論 日本経済学会連合会編『経済学の動向(下巻)』 1974年11月。
- 8) バーナードの文献解題「組織科学」第9巻第3号 1975年9月。
- 9) C. IバーナードとL. J.ヘンダーソン—日本バーナード協会(国際バーナード協会日本支部) 第1回研究発表大会報告をめぐって— 「商学研究」第21巻第3号 1975年12月。
- 10) バーナードの理論的視座「経営と人事管理」(日本人事管理協会) 第182号。
- 11) バーナードの理論理解のための一考察 「商学研究」第22巻第1, 2号 合併号 1976年10月。
- 12) チェスター・バーナード研究—「有効性」と「能率」の概念を中心として「経営と人事管理」第184号 1977年4月。
- 13) チェスター・バーナード: 技能, 知識および判断〔訳稿〕 「商学論集」

- (関西大学商学会) 第22巻第5号 1977年12月。
- 14) ハーバード・サイモンの管理論－『経営行動』を中心にして－ (1)
「経営と人事管理」第193号 1978年1月。
 - 15) ハーバート・サイモンの管理論－『経営行動』を中心にして－ (2)
「経営と人事管理」第194号 1978年2月。
 - 16) バーナードの理論的視座〔第52回 日本経営学会全国大会報告要旨〕
1978年9月。
 - 17) バーナードの理論的視座 日本経営学会編『日本的経営学と日本的経営』1979年9月。
 - 18) 経営管理の考え方 「地方自治職員研修」(公務職員研修協会) 第13巻
通巻148号。
 - 19) 富士銀行のオンラインシステム 「専修経営研究年報」第9号 1985
年3月。
 - 20) オフィス・オートメーション化の経営組織と経営管理に及ぼす影響
「専修経営研究年報」第10号 1986年9月。
 - 21) 奥田健二:「自己組織化する経営」を聞いて「経営哲学論集」第5集
1989年9月。
 - 22) ケース・メソッドのすすめ「ニュース専修」第238号 1989年12月。
 - 23) 米山高生:「企業経営と相互主義」を聞いて「経営哲学論集」第6集
1990年9月。
 - 24) 那須幸雄:「マーケティングの新動向—新しい時代のテーマソング」
を聞いて「経営哲学論集」第10集 1994年8月。
 - 25) テーマセッション:プラグマティズムとフォレット—アメリカの精神
を問う「組織科学」29巻 1995年10月。
 - 26) 沢野雅彦:現代企業情報思想「経営哲学論集」第11集 1996年10月。
 - 27) 鹿島秀晃:「日本型雇用システム論の歴史的解釈」を聞いて「経営哲

学論集」第17集 2001年9月。

- 28) 専修大学経営研究所中国企業実態調査（2007年9月5日～8日）に参加して激しく変わりゆく中国について感じたことを語る（ワーキング・ペーパー）専修大学経営研究所 2008年7月。
- 29) チェスター I. バーナード研究書誌（1）—その予備的作業—「商学研究」第22巻第3号 1977年3月。
- 30) チェスター I. バーナード研究書誌（2）「専修経営学論集」第61号 1995年10月。

【研究資料】

- 1) ケース：勇敢な銀行員の分析と決定「経営と人事管理」第175号付録 1976年7月。
- 2) バーナード研究資料（1）～（11）「日本バーナード協会ニュースレター」第1号～第11号，1977年3月；1978年5月；1979年6月；1980年6月；1981年7月；1982年8月；1983年10月；1984年9月；1985年12月；1987年9月；1988年10月。
- 3) 坂井正弘・村本芳郎著『ケース・メソッドに学ぶ経営の基礎』「専修経営研究所年報」第18集 1994年3月。
- 4) 専修大学経営研究所台湾企業調査団に同行して—銘傳大学への訪問と専修大学台湾校友会との交友に係わらせて一言—「専修経営研究年報」第31集 2007年3月。
- 5) 岡田和秀教授との交友における幾つかの思い出「専修経営学論集」第88号 2009年3月。

【その他】

- 1) 温かさと激しさ 「めぐりあい」(山本安次郎先生喜寿記念文集) 1982年10月。
- 2) 健全な精神が不可欠「ニュース専修」第214号 1988年1月。
- 3) ストレスにご用心「ニュース専修」第233号 1989年5月。
- 4) 学生部・学生厚生部の業務と課題—今後のあり方を中心に(：座談会)「学生部のあゆみ」1990年1月。
- 5) セミナーハウスについて数言「学生部のあゆみ」1990年1月。
- 6) 受講届けは慎重に「法政大学経済学部教学ニュース」第18号 1990年7月。
- 7) シンポジウム：テーマ「住む街・働く街・学ぶ街」 「専大経営研究所報」第9号 1991年2月。
- 8) シンポジウム1：テーマ「資産問題について」 「専大経営研究所報」第104号 1993年3月。

【学会報告】

- 1) C. I.バーナードの組織論研究の一視角〔日本経営学会〕1973年2月。
- 2) チェスター I. バーナードの組織論研究の一視角〔日本経営学会全国大会〕1973年10月。
- 3) 小沼徹雄：「バーナードの組織学説に関する一考察：人間存在の個人的・組織的二重性」〔組織学会〕(論評)1974年6月。
- 4) バーナードの理論理解のための一考察〔日本バーナード協会全国大会〕1976年6月。
- 5) チェスター・バーナード—その基本問題と理論—〔日本経営学会〕1977年9月。
- 6) バーナードの理論的視座〔日本経営学会全国大会〕1978年9月。

- 7) 小沼徹雄：「戦略とリーダーシップ—道徳的側面と技術的側面—」〔組織学会〕（論評） 1981年10月。
- 8) 浅野俊光：「日本における経営理念の発展—歴史的概念—」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1985年10月。
- 9) 小沼徹雄：「組織経済学から仏教経済学へ—バーナードから道元へ『場』的理解による創造的意志決定論を通して」〔組織学会〕〔論評〕 1986年6月。
- 10) 浅野俊光：「近代日本の経営理念—歴史的概念—」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1986年9月。
- 11) 奥田健二：「自己組織化する経営」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1988年9月。
- 12) 米山高生：「企業経営と相互主義理念—イギリス初期保険企業家の事例を中心として—」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1989年9月。
- 13) 真野脩：「バーナードとサイモンの均衡論—サイモンの誤謬—」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1990年9月。
- 14) 磯村和人：「組織におけるパーソナリティの問題—組織人格と個人人格をめぐって—」〔組織学会〕（論評） 1991年6月。
- 15) 「新しい国家」第一編と第二編を読んで—集団論と真の民主主義について〔フォレット協会全国大会〕 1991年5月。
- 16) 谷口照三：「ホワイトヘッドとフォレット」〔フォレット協会全国大会〕（論評） 1992年7月。
- 17) 村田春夫：「組織倫理学提唱—組織の活性と人間の活動—」〔経営哲学学会全国大会〕（論評） 1992年9月。
- 18) 磯村和人：「個人化のプロセスと人格」〔日本バーナード協会全国大会〕（論評） 1992年10月。
- 19) 小林敏男：「マネジメントの理想と現実」〔経営学史学会創立大会〕（論

- 評) 1993年 5月。
- 20) 那須幸雄：「マーケティングの新動向—新しいマーケティング」〔経営哲学学会全国大会〕(論評) 1993年12月。
- 21) 横沢利昌：「響存のマネジメント—山本経営学を介して—」〔経営学史学会大会〕(論評) 1994年 5月。
- 22) 沢野雅彦：「現代企業の情報思想」〔経営哲学学会全国大会〕(論評) 1994年 9月。
- 23) 阿部香・天津丁介：「プラグティズムとフォレット—アメリカ精神を問う」〔組織学会〕(論評) 1995年 6月。
- 24) 杉山三七男：「レスリスバーガーの基本スタンス」〔経営学史学会大会〕(論評) 1996年 5月。
- 25) 島田達己：『『情報化と企業倫理』と三戸公：情報と環境—随伴的結果によせて』〔経営哲学学会全国大会〕(論評) 1996年 9月。